

草津市教育委員会会議録

平成25年9月定例会

(9月25日開催)

草津市教育委員会

出席委員	委員長	小西 明
	委員	馬場 輝代
	委員	村山 美智子
	委員	麻植 美弥子
	教育長	三木 逸郎

議事参与	教育部長	加藤 幹彦
	教育部副部長（総括）	小寺 繁隆
	教育施設整備室長	吉川 寛
	教育部副部長（学校給食担当）	梅原 正雄
	教育部副部長（街道交流担当）	八杉 淳
	教育部副部長（学校教育担当）	清水 康行
	教育総務課長	山本 美佐子
	生涯学習課長	堀田 智恵子
	スポーツ保健課長	高岡 良秀
	文化財保護課長	谷口 智樹
	図書館長	今井 知春
	学校教育課長	糠塚 一彦

事務局	教育総務課副参事	松浦 正樹
-----	----------	-------

開会 午後 2時30分

小西委員長 それでは、ただいまから草津市教育委員会9月定例会を開会いたします。

—————日程第1—————

小西委員長 日程第1、「会期の決定について」であります。本日1日限りといたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

小西委員長 異議がないようですので、9月定例会は、本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

小西委員長 次に、日程第2、「5月定例会会議録訂正の承認について」であります。この内容につきまして、事務局の説明を求めます。

教育総務課長 教育総務課の山本から御説明申し上げます。5月定例会会議録につきましては、6月28日開催の6月定例会において承認をいただいた後、御署名をいただいたところですが、当日出席をいただいていた委員お一人の氏名が、会議録表紙裏面の出席委員欄から欠落しておりましたことから、お手元に配付しております正誤表のとおり、訂正をいたしたく御承認をお願いするものです。

どうぞよろしくお願いたします。

小西委員長 ただいま事務局から説明がありましたが、会議録の訂正を承認することについて、御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

小西委員長 異議もないようですので、5月定例会会議録の訂正についてはこれを承認し、5月定例会会議録署名委員である、麻植委員と村山委員に後ほど確認の署名をお願いします。

教育部長

今回の件につきましては、事務局の不手際がございまして、御迷惑をおかけいたしました。まことに申し訳ございませんでした。

—————日程第3—————

小西委員長

次に、日程第3、「8月定例会および臨時会会議録の承認について」であります。あらかじめ事務局から配付され、熟読されていると思いますが、御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

小西委員長

異議がないようですので、8月定例会および臨時会会議録は承認されました。定例会については村山委員と麻植委員に、臨時会については麻植委員と馬場委員に、後ほど署名をお願いします。

—————日程第4—————

小西委員長

次に、日程第4、「9月定例会会議録署名委員の指名について」であります。教育委員会会議規則第20条第2項の規定により、私から指名いたします。馬場委員と村山委員をお願いします。

—————日程第5—————

小西委員長

次に、日程第5、「教育長報告」をお願いします。

教育長

皆様、こんにちは。

まず初めに、うれしい報告を二つさせていただきます。

8月24日に開催された滋賀県第16回中学生広場「私の思い2013」で、新堂中学校3年の西村のかさんが発表した作品が滋賀県知事賞を受賞しました。この作品は、「第29回草津市青少年の主張発表大会」で最優秀賞となり、県に推薦されたものです。題名である「『みお』を通して」は、新堂中学校の生徒会がいじめについて考える劇を上演したことを題材にしたもので、2月15日の京都新聞に「劇でいじめ考えて」「周りの人で止められる」という見出し

しの記事が掲載されました。劇で主演を演じた西村ののかさんは、10月下旬に開催される中部・近畿ブロックで選出され「第35回少年の主張全国大会」に出場できるよう、頑張してほしいと思います。

二つ目は、7月に東京で開催された「第10回バルカーカップ室内自転車競技選手権大会」のサイクルフィギュア競技女子部門で、山田小学校6年の上嶋美音さんが史上最年少で全国優勝しました。9月12日の毎日新聞に「大学生選手らを抑え次々と華麗な技」「世界に通じる成長に期待」という見出しとともに、華麗な技を披露している写真が掲載されました。草津の子どもたちの奮闘をともに喜びたいと思います。

8月27日、文部科学省が「全国学力・学習状況調査」の結果を発表しました。翌日の新聞を読まれた方から、滋賀県は低迷しているが、草津はどうかと心配の声が寄せられました。いわゆる学力テストだけで知・徳・体にわたる学力を測ることはできませんが、各学校が学力向上に取り組んだ結果の一つであり、教育施策をはかる「ものさし」でもあります。知識に関するA問題と活用に関するB問題で、草津市は小・中学校とも全科目が滋賀県の平均を大きく上回り、小学校国語のA・Bと算数A、中学校国語のAと数学Aは全国平均を上回りました。学校とともに課題を分析し、子どもたちの学ぶ意欲の向上を図る施策に活かしたいと思います。

9月5日、大路市民センターで開催された通学合宿「フレンドハウスおおじ3」の開会式に参加しました。これまで草津市の各市民センターでは、さまざまな名称で通学合宿を実施され、今回で11回を迎えたところもあります。草津第二小学校の「地域協働合校推進委員会」が主催した通学合宿には、43名の児童が参加しました。子どもたちは避難所での生活体験や、「火の用心パトロール」をはじめ、地域の方々と防災施設などを見回り防災マップを作成、また救命処置の習得や炊き出しの体験、ダンボールを利用した就寝スペースづくりなど、災害時を想定した訓練と学習を行いました。

開会式で私は子どもたちに以下のような話をしました。家族から離れ、普段の生活では体験できない避難所生活や防災マップづくりなど、防災をテーマとした通学合宿は期待と不安が入り混じっていると思いますが、学年を越えて助け合い、2泊3日を楽しく過ごしてくださいと声をかけました。また、3日間をサポートしていただいた200名に及ぶ地域の皆様には、日ごろよりの地域協働合校事業推進へのお礼とあわせ、子どもと大人の絆を更に深めて、これからの「まちづくり」に繋いでいただくようお願いしました。

9月15日、ホテルボストンプラザで草津市バレーボール協会の創立40周年記念式典と祝賀会が盛大に行われました。バレーボール協会は昭和49年の創立以来、バレーボールの普及・発展に尽くされたことはもとより、県民体育

大会での総合優勝に貢献するなど、競技面でも大きな力を発揮されてきました。また本市はソフトバレーボールも盛んに行われ、子どもから高齢者までが楽しめる生涯スポーツの分野でも草津市バレーボール協会の元気ある活動が目立っています。式典では馬場久昭会長の挨拶、来賓の橋川渉市長と奥村恭弘議長の祝辞に続き、協会の活動に長年にわたり尽力された西村良輔氏に市長より、また上野健次氏に教育長から感謝状をお渡ししました。式典後の祝賀会では130名ほどの参加者による楽しい出し物があり、和やかなうちに閉じました。

次に、草津市の9月定例会市議会は9月3日に開会し、9月13日と17日に一般質問がありました。教育委員会への一般質問は7人の議員から24項目の質問がありました。主な質問は、①学校図書について、②教育委員会の会議録について、③教育委員、委員長の選出について、④三ツ池施設整備について、⑤全国学力テストについて、⑥生活習慣や学習環境について、⑦「モジュール学習」について、⑧教育改革の成果について、⑨これでマナーが改善されるか、⑩食物アレルギーについて、⑪教育長としてどのようなリーダーシップを発揮してどのような方向に改革していこうと考えているのか、⑫文化・スポーツ等に関する事務を市長部局に移管する機構改革について、⑬学校防犯について等でありました。議会の様子は、市議会ホームページ等を御覧いただきたいと思います。

9月23日、しが県民芸術創造館で「第26回のち・愛・人権のつどい」が開催され、鎌倉女子大学の春日美奈子教授による「心の居場所の大切さ」と題した講演がありました。ジャーナリスト・ニュースキャスターを続けながら、少年非行や少年犯罪をテーマに、受け皿となる家庭や社会のあり方、非行少年の更生について研究・実践されている春日教授は、「家というのは心ある場所」。どんなときにも手を繋いで支え合える人がいる場が家であり、それが「心ある場所」であると力説されました。話の中で「親から暴力を受けた子は暴力をコミュニケーションの一つと捉える傾向がある」と言われたことにむなしさを感じつつ、荒れた子どもの心を育て直すのは、大人の責任であることを改めて思いました。また当日は、三村奈緒子KID'Sダンスチームがピノキオを演じ、いじめで亡くなった天国の子どもたちからをテーマにした「ジェントルハートメッセージ」展が開催されました。参加されての御感想等をお聞きできればと思います。

最後に、本日の付議事項で、「平成24年度の教育委員会事務の点検および評価報告書」を議会に提出し公表する議案がございます。委員の皆様には、8月30日に開催された外部評価委員との懇談会に御出席いただき、ありがとうございました。昨年の懇談会では、先進的な取組についての評価とあわせ、量的な追求から質の向上を目指してほしいと発言された評価委員会委員長の兒玉

典子滋賀大学教育学部長が、8月7日の第2回評価委員会の冒頭で「草津市が昨年と比べて変わったという認識を持ちました。草津市は随分と頑張っています。『評価報告書』を読むたびに草津市への理解が深まりました」と言われました。児玉委員長が草津の教育について持たれた「思い」を市民のものとするために、教育委員会を構成する私たちは一丸となって取り組みたいと思います。長くなりましたが、以上で教育長報告を終わります。

小西委員長

ありがとうございました。

ただいまの教育長報告に関連する事項について、御感想などありましたら、どなたからでも発言をお願いいたします。

麻植委員、どうぞ。

麻植委員

9月23日「第26回いのち・愛・人権のつどい」に行っていました。春日教授の講演を聞きましたが、その中で冒頭、七夕の短冊に書かれていた「一人の人間として扱ってほしい」この言葉が、私は今も心に残っています。本当に悲しい心の叫びだと思っています。そのお話の中で、心の居場所の大切さを説かれていました。「子どもが安心して身を置く場所が必要」「家とは心ある場所であればならない」それとあと「種を育てる」という言葉から、草津市でも家庭教育・幼児教育・学校教育・市長部局・子ども家庭部と教育委員会との深い連携が必要だと強く感じました。

「種を育てる」という部分から、自分のことを振り返りますと、私の3人の娘、不登校を通じ感じたことがたくさんあります。それぞれ大学へ行き社会復帰をしています娘たちですが、両親以外にもいろいろな方々が温かく見守り、支援をしてくださいました。三女はホースプレイスクールに通い、馬と出会い、そして会員の皆さんから、ふだんは学校のある時間帯ですから「学校は。どうしたの、行かないの。」というのが自然なことで、言葉として出るかなと思うんですけども、そういう言葉もかけずに、温かく見守り、学校に行っている時間帯ですね、それでも自然体で接してくださっていました。これは動物との癒やしもありますが、心の居場所をつくってもらったのだなと思っています。

そしてもう一つ、忘れてはならないのは、私の自宅の前が公園です。地元の町内会のかたがたがグラウンドゴルフをされています。これも平日の昼間ですが、そこに娘が、学校に行っている時間ではあるんですけども、参加して、おじいちゃん、おばあちゃんたちと一緒にグラウンドゴルフをさせていただいていました。それも「学校行かないの」と言われるときっと一回行っただけで二度と行かないかなと思うんですけども、されている姿を見ると自分からそこに行って、一緒にグラウンドゴルフをさせてもらっていました。これもやはり心の

居場所をつくっていただいたんだなと本当に感謝しています。子どものそばには大人がいる。心に寄り添って、家庭と地域で守り育てることが、本当に大事なんだなというふうに思っています。

それで最後の結びの言葉の中に「子どもの教育というより、大人がしっかり立つ。大人の生き様を見せることが大事。」と結んでおられました。そのためには大人が、心も体も健康でなければならない、ということもおっしゃっていました。この人権のつどいの講演を聞かせていただいて、本当に考えさせられる部分がいっぱいありました。本当にありがたかったです。

ありがとうございました。

小西委員長

ほかにございますか。

村山委員、どうぞ。

村山委員

私も9月23日の「第26回いのち・愛・人権のつどい」に出席してまいりまして、春日さんの講演を拝聴してまいりました。今、皆さんおっしゃったように、「心の居場所」というものについての講演だったんですけども「基本は家庭であり、自分を見守ってくれる両親であり、あるいは学校であり、またときにはそれが夢の存在というのが心の居場所になる。それでも居場所がないと、社会を漂流するようになる」とおっしゃっていました。「そんなときでもしっかり地に足をつけて前を向いて歩く大人が周りにいれば、きっとそれは子どもにも伝わる。」ともおっしゃっていました。麻植委員もおっしゃったように、周りにきちんとした、しっかり前を向いて歩く大人がいる社会というのが大事なことで、親として、また教育に関わるものとして、そしてそれ以前に、社会を構成する一人の人間として、しっかりとした姿を子どもたちに見せなければいけないし、みんなでそういう社会を保っていかなければならないということに改めて感じました。

それからもう一つ心を打たれたのは、会場内に展示されていた「ジェントルハートメッセージ」展です。これはいじめや暴力で我が子を亡くされた親御さんたちのグループが、お子さんたちの大きな写真にメッセージを添えて展示されたものです。亡くなった当時10代のお子さんばかりで、ちょうど同じ年ごろの息子がいる私にはなおさら心が痛く、見るのが本当に辛かったです。まだあどけない笑顔の彼らが、その先に死に追いやられたという事実が、どんな客観的に事件を語られるよりも、はるかに大きな衝撃として胸に迫ってきました。一人でも多くの皆さんに見てもらいたい内容だなと思いました。

以上です。

小西委員長

ほかにございますか。

馬場委員、どうぞ。

馬場委員

先ほど教育長報告にもあったんですが、草津の子どもたちは頑張っている、本当の状態の話をしていただきました。本当にうれしかったです。学力調査も全国平均を上回る草津の子どもというので、その草津の子どもの頑張り、また草津の先生方の頑張りについて、少しお話をさせていただきます。

先週の金曜日、19日ですが、老上小学校の校内研究会に行ってきました。一クラスずつ先生と向き合って、クラスの子どもたち全部の、今、指導が始まったばかりの作品を並べながら、話をいろいろさせてもらったんですが、どの先生も上手に教えたい、子どもたちの持っている力を思いっきり出してやりたいという思いで、本当に熱心に話を進めました。それが、年齢もいろいろなんですけど、若い人もあり、年配者の経験豊富な人もあったんですが、思いは同じ。どの人たちも本当に熱心に、これはどうしたらいいんだろうということを素直に問いかけてたり、これから、明日からこれをします、それから自分の課題はこれですとか、それからここまではいけるんですがここから先がどうしてもいけないとか、それぞれの持っている話をされたりとかということで、大変私も感銘を受けました。と同時に、全クラスの子どもの作品が並んでいますので、その作品を一つずつ見せてもらっていて、どの子どもも先生が教えておられること、先生の指導に従って精一杯やっているなど、横見をしている子はないなどいうのを感じて、それもすごくうれしかったです。そういうことが一番の、子どもたちの力をつけ、先生方の力をつけるんだなということで、大変満足して帰ってきたんですが、結果だけを見て審査したらそんなことはできないんですが、初めの段階で関わらせてもらい、また途中のちょっと行き詰まったところで関わらせてもらうということで、学校現場と一緒に、少しでも前進できたらなというふうに思って帰ってきました。

以上です。

小西委員長

それでは私からも申しあげます。

教育長も、それから他の委員も触れられましたけれども、私も9月23日の「いのち・愛・人権のつどい」に参加させていただきました。まず展示室で、いじめが原因で自らの命を絶った多くの子どもたちの大きな顔写真と、説明パネルの展示を見まして、それぞれに事情は違ってもその子どもたち一人一人が大人の自分に訴えかけているようで、一人の人間として重い気持ちになって、責任を感じながら展示室を出ました。訴える力の非常に強い展示であったと思います。その後、子どもたちによるKID'Sダンスを鑑賞させてもらい、そ

のはつらつとした姿は、将来への希望を感じさせてくれて、ほっとした気持ちになりました。その後の講演で、講師の鎌倉女子大学教授、春日先生が「心の居場所の大切さ」について、少年の非行をテーマに、少年たちの心の受け皿となる家庭や社会のあり方、非行少年の更生についての話をされ、大人である自分の姿勢の大切さについて改めて考えさせられました。そして子どもたちにその姿勢を示すためにも、年をとっても、自分自身の心の居場所として、夢と希望、目的を持ち続けて、それに向かって生きる生活をしたかったです。

子どもたちと申しますと、9月7日に、私も手打ちうどんの店の一員として参加をいたしました、草津市社会福祉協議会のボランティアフェスティバルの会場で、北川校長先生と高穂中学校の生徒の皆さん、そして草津中学校の生徒の皆さんが暑い中、きぐるみ役やごみ処理役を引き受けて、たくさんの大人たちとともに、この地域社会の活動に参加してくれている姿を見ました。これも子どもたちの心の受け皿の一つの形ではないかと思えます。地域協働合校の活動を初め、ほかでもこのような活動がなされていることと思えますが、両校の子どもたちの活動を目の当たりにして、とても頼もしく思いましたので、報告をさせていただきます。

それでは、教育長報告につきましては、以上で終わらせていただきます。

—————日程第6—————

小西委員長

次に日程第6、付議事項、「議第43号 平成24年度における教育に関する事務および執行状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、並びに交渉するにつき、議決を求めることについて」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

教育総務課長

議第43号、平成24年度における教育に関する事務および執行状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、並びに公表するにつき議決を求めることについて、教育総務課、山本から御説明申しあげます。

議案書の3ページ以降が、点検および評価の報告書となっております。それでは報告書の2ページ、3ページをお開きください。教育委員会事務の点検及び評価の報告書につきましては、去る5月から7月にかけて教育委員会事務局内で内部評価を行い、7月30日の定例教育委員会で協議をさせていただきました。その後、8月5日、7日の2日間にわたり、外部評価委員会を開催いた

しまして、点検・評価報告書の全シートについて、御意見・助言をいただきました。さらに8月30日の第3回外部評価委員会では、外部評価委員と教育委員との懇談を行い、その内容も踏まえて、今回報告書をまとめさせていただいたところです。

個々の評価シートの説明については省略させていただきたいと思いますが、11ページを御覧いただきたいと思います。中ほどに、外部評価委員の意見等ございますが、それぞれの評価シートごとに意見を表記しております。また、62ページには点検評価の結果一覧を、68ページ以降には外部評価委員と草津市教育委員の懇談ということで、まとめさせていただいております。懇談の内容といたしましては、外部評価委員より外部評価を行っての感想、教育委員より外部評価委員会の会議録を読んでの感想、ICT化の推進について、教育委員会の情報発信について、今後の草津市の教育についての項目別にまとめさせていただいております。

平成24年度の評価といたしましては、「予算を有効活用し、多くの事業を充実させようと努力されている。」「ソフト・ハードの両面で先進的な取り組みをされており、それぞれに課題はあるものの、達成率の高い結果となっている。」「昨年度よりも質を重視した取り組みが評価に反映されている。」「毎年多くの点で改善が見られ、平成26年度に控える教育振興基本計画の見直しに向けて、着々と準備が整いつつあると感じた。」などおおむね良い評価をいただいております。

また、今後の草津市の教育につきましては、「草津市の先進的な試みがこの先も継続されていることを期待している。」「今後さらにICTが推進されていくであろうが、教育は人対人であるので、活用する教員の育成、総合的な実践力を高める努力をしていただきたい。」など御意見をいただきました。これらの意見を踏まえまして、今後の取組や点検評価、また来年度に予定しております草津市教育振興基本計画の見直しに活かしてまいりたいと考えております。

なお、今後の予定でございますが、本日議決いただいた後、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第27条の規定に基づき、議会に提出させていただくとともに、市のホームページに公表してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上で、説明を終わらせていただきます。

小西委員長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

各委員

— 特になし —

小西委員長

本件につきまして、御異議はございませんか。

各委員

— 異議なし —

小西委員長

異議もないようですので、議第43号については、原案どおり可決いたします。

—————日程第7—————

小西委員長

それでは日程第7、「報告事項」に入ります。
事務局から報告願います。

教育総務課長

まず、報告事項（1）志津小学校大規模改造工事（建築）に係る工事費変更について、報告書の2ページを御覧いただきたいと思います。

当該工事につきましては、先の6月定例市議会において契約締結の議決をいただいたところでございますが、平成25年度の労務単価が大幅に上昇し、平成25年度公共工事労務単価の運用にかかる特例措置により、270万9,000円の増額を行ったものでございます。なお、当該工事の工期の関係から、9月3日の9月定例市議会開会日に既に議決をいただいておりますので、御報告申しあげます。

続いて、報告事項の（2）ということで、報告書の3ページを御覧いただきたいと思います。

常磐小学校大規模改造I期工事（建築）に係る工事費の変更でございます。当該工事につきましても、先の6月市議会において、契約締結の議決をいただいたところでございますが、先ほどの工事と同様に労務単価が上昇し、301万9,800円の増額を行うものでございます。なお、この工事は去る9月18日の総務常任委員会において承認をいただき、10月2日の9月定例市議会閉会日に議決をいただく予定でございますので、御報告申しあげます。

図書館長

報告事項（3）草津市図書館協議会からの草津市の図書館基本計画の提言について、報告事項4ページ以降を御覧いただきたいと思います。

今般、草津市図書館協議会会長より「草津市の図書館基本計画に向けて」と題しての提言を頂戴いたしました。これを受けまして、今後草津市教育委員会として、草津市の図書館基本計画の策定を行わなければならないと考えております。教育委員の皆様方の御意見やお力を得ながら、取りまとめてまいりたいと考えておりますので、よろしく御願い申しあげたいと思います。

教育総務課長

最後に、報告事項（４）寄付受け入れ報告につきまして、教育総務課、山本から御説明申しあげます。

矢倉小学校に対しまして、矢倉小学校平成２３年度保護者様から、マット滑り止め、矢倉小学校平成２４年度ＰＴＡ様からは、給食帽子・給食白衣・トイレスリッパ、矢倉小学校平成２４年度保護者様からは、黒板消しクリーナー・クリーナー交換部品を御寄付いただいております。また、老上中学校に対しまして、深尾理工教育振興財団様から、生物顕微鏡・電源装置・教材提示装置をいただいております。最後に、山田幼稚園に対しまして、山田幼・小教育後援会様から、ミストシャワーをそれぞれ御寄付いただきましたので、御報告申しあげます。

以上です。

小西委員長

それでは、ただいまの報告事項につきまして、御質問等はございませんか。麻植委員、どうぞ。

麻植委員

報告事項（３）の「図書館基本計画に向けて」の中で、１点御質問させていただきたく思います。１１ページの草津市の目指す図書館像の主な事業内容の中の①です。その方向性の２番目なんですけれども、市民のライフスタイルや読書要求に対応した図書館サービスの構築というところがあります。事業内容と書いて挙げてくださっているのですが、市民向けの、例えば子どもたちであればブックトークであったりとか、ブックスタートとか、そういう読書を紹介するという施策、事業展開されているのは存じているのですが、大人向けにそういうものはされているのか、少しお伺いしたく思いました。

よろしくをお願いします。

小西委員長

事務局、どうぞ。

図書館長

現在は学校との連携強化の意味で、小学校ならびに中学校への出張ブックトークを実施しております。直接大人へのブックトークにつきましては、現在は行っておりませんが、今、委員の御指摘がございましたように、子ども向けのお話会、またはお話の時間などを通して、子どもも大人も一緒に楽しんでもらうよう、企画をしているところでございます。併せて、本年１１月に開催をいたします、図書館まつりの中でも、市民向けのブックトークを企画しているところでございます。さらに、大人への読書の働きかけといたしまして、南草津図書館では「一度は読みたい日本文学」として、「読書の秋」と題した冊

子を作成し、市民の皆様方に提供しているところでございます。草津図書館におきましても、同様の大人向けの読書案内を作成しながら、広く市民に提供していきたいと考えているところでございます。

小西委員長

よろしいですか。ほかにございませんか。

各委員

— 特になし —

小西委員長

ないようですので、以上で本日予定しました議事は終了となりますが、そのほかでなにかございませんか。

どうぞ。

生涯学習課長

生涯学習課の堀田でございます。お手元に3種類のチラシを配付させていただいております。一つはカラー刷りの、第52回草津市民文化祭が今月28日、29日にしが県民芸術創造館のほうで開催させていただきます。また、緑色のチラシといたしまして、第58回宗鑑忌俳句大会が10月12日土曜日でございますが、市役所8階大会議室で開催させていただきます。それからピンクのチラシが、第51回草津市美術展覧会を10月12日から10月20日まで開催させていただきますので、お忙しいと思いますが、できればぜひ参加いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

スポーツ保健課専門員

スポーツ保健課の藤崎です。お手元にお配りさせていただいておりますが、ジュニアスポーツフェスティバル草津、JSFですが、10月18日金曜日に、立命館大学BKCクインスタジアムで開催させていただきます。市内全6年生、児童約1,250人が一堂に会しまして、長縄八の字飛びや各種スポーツを見たり体験したりしていただく予定をしておりますので、御覧いただける場合、スポーツ保健課まで御予約いただければと思っておりますので、よろしく申し上げます。

変わりました、お手元にもお配りさせていただいておりますが、先日ドイツのサイクルサッカー・フィギュアのかたがた、ジュニアチームの方々が山田小学校を訪れていただきまして、交流をしていただきました。山田小学校には先ほど話もありましたが、最年少で優勝された人もおりますので、交流をしていただきまして、ともに演技を披露したり、自転車に親しんでいただいたところでもあります。またその後、表敬訪問ということでこちらのほうにもお越しいただきましたので、意見交換等させていただいたところでもあります。また、新聞

記事の中にも入っておりますが、平成25年度の生涯スポーツ功労者として、草津市のほうから体育協会理事長の小伝良様、そして草津スポーツ推進委員協議会の会長の嘉悦様、ともに文部科学省の表彰を受けられるというようなことになりましたので、あわせて報告させていただきます。

学校教育課長

学校教育課の糠塚でございます。お手元の資料に第51回草津市青少年美術展の案内をお配りしております。期間が10月25日から31日まで開催されております。子どもたちの作品が約2,000点余り出品されますので、また御覧いただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

小西委員長

ほかにごございませんか。

各委員

— 特になし —

小西委員長

それでは、私から一言、御挨拶を申しあげます。御存知のとおり、私の4年の任期は来月、10月11日でございますが、定例会に出席させていただきますのは、これが最後となりますので、この機会に皆様方からいただきました、御指導・御鞭撻・御厚情に対し、厚く御礼を申しあげます。

どうもありがとうございました。

この先は、草津の教育行政を担っておられる皆様方が、草津の教育についての事業をますます発展させていただきますよう、お願い申しあげ、期待をし、見守りたいと思っております。そして私自身は年をとりましても、希望と夢、目的を持ち続けまして、一日一日が、今日が一番良かったと、今日が一番値打ちのある日だと思えるような生活を送ってまいりたいと思っております。どうかこれからも今までと変わりませず、親しくおつき合いくだされば幸いです。

最後になりましたが、皆様方の御多幸と御健康をお祈り申しあげまして、御挨拶いたします。どうもありがとうございました。

各委員

— 拍手 —

小西委員長

それでは、これもちまして、9月定例会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後 3時10分